

堀公の



7



6



8



12



13



9



10



11

- ①飯田城址（長姫神社）
- ②旧飯田城赤門（飯田市観光課提供）
- ③東江寺寄贈堀家旗（飯田市美術博物館提供）
- ④飯田城絵図。飯田城下の特徴的なところは、中心に民家・商家があり、周囲に武家屋敷があったことである（下伊那教育会蔵）
- ⑤緋紫藍革絨胴丸。第10代堀親審（ちかしげ）着用のもので推定されている（長姫神社蔵）
- ⑥飯田藩屋敷を今に伝える屋敷（飯田市松尾）
- ⑦「信濃衆」の一つ、小笠原家旧邸（現・小笠原家書院）
- ⑧旧小笠原邸内
- ⑨「堀美作守親昌」銘入りの大筒（長姫神社蔵）
- ⑩堀家の定紋入り火縄銃（長姫神社蔵）
- ⑪黒塗牡丹鳳凰蒔絵の鞍・鐙（長姫神社蔵）
- ⑫『飯田御用覚書』（本文座談会参照。下伊那教育会蔵）
- ⑬堀家蔵書（飯田市立中央図書館蔵）

と知力



1



2



3



5



4

民衆の富力



7



6



8



9

- ①飯田衆の富力を示す「三連蔵」（飯田市観光課提供）
- ②平田学徒で有力郷士の北原稲雄屋敷。築300年弱という
- ③尊王の烈女として活躍した松尾多勢子（清水勉氏提供。本文 50 p 参照）
- ④水戸浪士の通過を接遇した庄屋・大沢家屋敷（昨年修復した）
- ⑤天狗党交渉記念碑
- ⑥飯田の伝統芸能「今田人形」（飯田市観光課提供）
- ⑦伝統行事のお練りも飯田の民力の表れだった（飯田市観光課提供）
- ⑧勇壮なお練りの行事（飯田市観光課提供）
- ⑨飯田城址内に移築された旧柳田國男（柳田國男館）。飯田藩士の養子となった柳田國男も、飯田の「知力」を代表する人物だ
- ⑩柳田國男館内の書齋を改造したサロン。飯田には柳田の弟子が多く、民俗学の研究が盛んだ



10

今再び新たな交通の要所へ

1



2



3



- ①旧城址に整備された飯田市立美術博物館の敷地内に復元された「御用水跡」。リニア敷設に伴い新たなセンターのひとつとなろう
- ②大宮諏訪神社縁起絵詞。この典雅なお練りに示される飯田の伝統文化が、新たな交通体系により、全国に発信される日が（大宮諏訪神社蔵）
- ③未来の飯田駅（飯田市提供）

本特集を企画制作するに辺り、以下の団体に深甚なるご協力をいただきました。そのほか、お世話になった多くの市民の方々にも、誌上を借りまして厚く御礼を申し上げます。

■飯田市、飯田市観光課、飯田市市立美術博物館、飯田市立中央図書館、南信州新聞社、櫻井弘人様、後藤託馬様